



音声記録(日本語および英語字幕付き)(抜粋):
<https://youtu.be/auOnqRjjMwA>



オ・ウ

2020年

アクト + 音声インスタレーション(上下逆に設置された什器、スピーカー)

テキストサイズ可変音声: 約2分30秒(一巡)、15分10秒(全体)

TOKAS本郷(東京)でのプロジェクト『追熟と訛り:未熟の回復と鮭の遡上』の一部として

聞こえてくるのは、子供の頃の方言の矯正と海外移住で疎遠となった母語との距離を認め、折り合うあたりを探る声の奇跡。

ひとつの二重母音から開き、一見詩的な言葉の連なりを通して、私たちの存在や取り巻く世界との関係性に想いを巡らす。語彙や表現、抑揚にぎこちなさを感じながら、何度も繰り返して「こうあるべきだった」ことばの響きを追ひ、和英の同音同義語「負う」と「owe」や、日本語に音韻が似ている南アフリカのズールー語との偶然の一致など、遠くの地で授かった出会いやつながりの増幅を詠んだ。

母語との二重の疎遠

方言を口にすると、その度に両親に標準語へと正される。それは10歳の時に始まり、一文ごとに遮られて話す気と共に関西弁も失った。日本を離れ、海外で英語やオランダ語、スウェーデン語、フランス語といくつかの言語を身につける一方で、母語である日本語を話すこと、書くことは徐々に容易ではなくなっていく。

二重母音の変奏

二重母音の〈オウ〉は私の生まれ育った地域の方言には繰り返し出てくる。「自分の言葉」との距離を縮めるべく、日本語、そして関西弁を発音するために言葉を書き並べ始めた。そこでは、打ち解けた挨拶であり同意の感嘆詞でもある「おう」に始まり、会う、合う、追う、黄など、日本語で〈オウ〉と書く、または発音する言葉に遊んだ。

その遊びを、なじみを持つようになった外国語にも広げる。日本語の〈負う〉は、英語のowe(オウ)と同音同義語。そこから、oweの語源がサンスクリットのown(オウン。持つ、所有するの意)に辿り着く。日本語では敬意を込めたり、親愛感を持って人を指す時につける接頭辞の〈お〉から、南アフリカのズールー語で人を指す時につける接頭辞のowu-(オウ)へとつなげる、といった具合に開いていく。

「こうあるべき」との折り合い

人はどのように社会を造り、人間として生き、運や縁や恩でつながり合い、変化を受け入れ、この世に在るのか。そんな問いに思いを巡らせながら、日々の生活で感じる息苦しさやより顕著になっていく世界の分断、相互扶助の欠如、政治腐敗やBLMなど、同時代の社会情勢も織り込みながら〈オウ〉という音に戯れた。私のたどった道のりや身につけた世界観を映し出すその表現を、一ヶ月のあいだ繰り返し「発音」し、録音を聞き、調整をしながら、「こうあるべき」だったはずのことばの響きを追った。

TOKAS本郷での展示では、この試みのそれぞれ異なる段階に録音した7つをつなげて、音声インスタレーションとして提示した。子どもの身長ほどの高さで上下を逆にした什器の底から、「とってつけたような」関西弁を話す声が響いてくる。いくつかの試みに耳を傾けていくと、隔たりが徐々に縮まっていくような、そんな足跡に気付くことができるかもしれない。

『オ・ウ』

オウ!

けんか、売つとおよおに聞こえよお?
 長いこと顔見ひんかった感じしよお?
 気いおおてるか、わかれへんけど
 二人の人間、向きおとお

向きおおてへんねやつたら
 背中合わせ。背中がおとお
 お互い、顔、見えへんけど
 しよいあつとおよおなもん

もう片つぽおに頼つとお
 両方頼つとおかもしれへん
 お互い、寄つかかるから立てとんちやうん?
 向こおのおかげ。おかげさん

おかげさんて英語でも、オウ、ゆうんやて
 借りる、ゆう意味もあんねんて
 元は昔のインドの言葉で「持つとお」ゆう意味やて
 オウには運と縁と恩、あんねんなあ

後からついていきよおのも
 どっかからどけよおのも、追う、ゆうやん?
 世の中、いろんなもん追おてきよおし
 うちらも追つかけてお

夢も、仕事も。カエルの歌も
 向こから来たバナナが
 こっちで黄色おなって甘くなるんも
 いそいどつても、ゆっくりやつても

オウって、そつちの言葉でなんか意味あるん?
 ゆうて、南アフリカの子に聞いてみてん
 オウ=モンガリ、やと「大臣のひと」で
 オウ=ングムルング、やと「白人のひと」やねんて

人指すのんに、頭に、オウってつけよおの
 アフリカ結構遠いのに、ちよっと似とお
 おまわりさんやろ、お釈迦さん、お粥さんもや
 食べもんにさん付けしよおの、うちらだけなん

言葉、なまりよおのは、英語でコラプション
 政治家、せこいことしよおのもコラプション
 腐つとお、ゆう意味。せやけど
 なまる、ゆう「くさり」方はええと思わん?

(左頁)耳を傾ける観客のいる、インスタレーション風景(右頁、上)非日本語話者のための『オ・ウ』の原稿の英訳とともに、聴覚に問題のある観客のために展示会場で提供した日本語の転写